

日本地震工学会・会長特別委員会
「首都圏における地震・水害等による複合災害への対応に関する委員会」
研究報告会

日 時：2015年6月9日（火） 14:00～17:50（終了後、交流会を開催）

場 所：工学院大学・新宿校舎 28階第1会議室

アクセス：<http://www.kogakuin.ac.jp/facilities/campus/shinjuku/access.html>

参加費：無料

概 要：本委員会は2014年度に設置され、首都直下地震や大規模水害など首都圏における複合災害を対象に、現状と課題の整理や今後に必要な対応策を検討しています。このたびは、これまでの成果をもとに公開研究報告会を実施し、会員の皆様をはじめ関心ある方々との意見交換の場を設けることにしました。お誘いあわせの上、参加頂けますようお願いいたします。

プログラム

あいさつ

14:00-14:05 安田 進（日本地震工学会・前会長、東京電機大学）

趣旨説明

14:05-14:20 久田嘉章（委員長、工学院大学）

都市災害のシミュレーションとハザード・リスク評価に関する現状と課題

14:20-14:50 消防活動の意思決定を支援するシミュレーションの現状と課題
（招待講演）：細川直史（消防研究センター）

14:50-15:10 都市における水害・複合災害のリスクと課題：大原美保（土木研究所）

15:10-15:30 産業・インフラ施設の地震リスク評価：中村孝明（篠塚研究所）

休息 15:30-15:40

都市型複合災害に関する防災情報と対策への取り組み事例

15:40-16:00 地震災害と風水害に対する防災科研の取り組み
：大井昌弘（防災科学技術研究所）

16:00-16:20 新宿駅周辺エリアにおける地震防災対策の取り組み
：村上正浩（工学院大学）

16:20-16:40 北千住エリアにおける複合災害への取り組み：
小林 亘（東京電機大学）

16:40-17:00 東京ガスの地震防災対策
～ 実効性のあるBCPによる非常事態への備え～：猪股 渉（東京ガス）

17:00-17:20 防災情報と社会：黒沢大陸（朝日新聞）

質疑・討論 17:20-17:50

終了後、工学院大学中層棟7階にて交流会を開催（会費2,000円）

謝 辞：本報告会は、日本地震工学会・特別研究委員会「津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会」、および、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の課題「レジリエントな防災・減災機能の強化」による「巨大都市・大規模ターミナル駅周辺地域における複合災害への対応支援アプリケーションの開発」との連携のもとで実施します。